



参加費用

個人負担経費

- ☐ パスポート取得費用
- ☐ 予防接種料(必要に応じて)
- ☐ 国内研修時の食費
- ☐ 現地での宿泊費及び食費※
- ☐ 追加保険の加入費用
- ☐ その他私的な支出

※食費・宿泊費で10万円程度。この金額は目安ですので、変動する可能性があることをご了承ください。

JICA負担経費

- ☐ 国内研修時の交通費
- ☐ 国内研修時の宿泊費(対象者のみ)
- ☐ 出発空港までの往復交通費
(宿泊を伴う場合は宿泊費)
- ☐ 査証代
- ☐ 国内、海外空港使用税
- ☐ 往復渡航費
- ☐ 海外旅行傷害保険費(JICA規定分)



研修国 および 募集人数

研修国：パラグアイ共和国
募集人数：5名



応募方法 および 応募締切

応募用紙に必要な事項をご記入の上、**2018年5月11日(金)必着**でJICA四国まで郵送してください。

お問い合わせ・お申し込み先

独立行政法人国際協力機構 四国支部(JICA四国) 開発教育支援事業担当

〒760-0028 香川県高松市鍛冶屋町3番地 香川三友ビル1階

Tel:087-821-8824(代表) Fax:087-822-8870 E-mail:Ikawa.Taishi.2@jica.go.jp

※応募用紙はJICA四国ホームページからもダウンロードできます。



選考 および 決定通知

提出書類に基づき選考を行います。(応募多数の場合、書類選考に加え、県からの参加者数等も考慮します。) 選考結果は、6月上旬までに通知いたします。



報告書の提出

- ・帰国後2週間以内に海外研修報告書(所定様式)を提出していただきます。
- ・研修での成果を授業で実践した授業実践報告書をJICAが指定する期日までに提出していただきます。
なお、報告書については、JICA四国ホームページに掲載、一般公開しますので、予めご了承ください。



注意事項

- ・本事業は研修旅行であり、JICAにおける労災保険等の適用はありません。
- ・所属先の業務出張扱いにて参加される場合は、各所属先の責任において、参加期間中の業務上災害に対する補償措置を行ってください。
- ・JICAは出張命令依頼書等の発行を行いません。
- ・参加決定後、参加者本人及び所属先所属長宛に決定通知を送付します。
- ・研修の対象者として決定された場合においても、他の参加者に迷惑をかけたり、決められた活動に参加できない方については、国内研修中、海外研修中を問わず、研修対象者としての資格を失うことがあります。
特に、海外研修中に研修対象者としての資格を失った場合、旅費・滞在費等に係るキャンセル料等は、当該者の全額負担となります。また、帰路の旅費も当該者の負担となりますのでご了承ください。

皆様のご応募お待ちしております!!

★詳しくは、【JICA四国 教師海外研修】で検索



2018年度 JICA四国 教師海外研修 パラグアイ

もう一つの日本へ

参加者募集 応募締切
5月11日(金)

海外研修期間

8/8水

8/18土

【主催】独立行政法人 国際協力機構(JICA)四国支部

【後援】外務省、文部科学省

香川県教育委員会、徳島県教育委員会、高知県教育委員会、愛媛県教育委員会





研修のねらい

教師海外研修は、実際に開発途上国を訪問することで、開発途上国が置かれている現状や国際協力の現場、開発途上国と日本との関係に対する理解を深めること及び、四国との関係の深い日系人移住地域の訪問を通して、相互理解の深化と涵養へつなげ、その経験を次代を担う生徒への国際理解教育・開発教育に役立ててもらうことを目的として実施しています。国内研修では、参加型学習の手法や教材作りのヒントを学び、海外研修では、教育分野を始めJICAがパラグアイで取り組んでいる国際協力の現場や日系人移住地域等を見学します。また、現地で活躍する青年海外協力隊員との意見交換の場も設ける予定です。研修参加後は、JICA四国と協力し、教育現場で国際理解教育・開発教育を推進する中核となるような人材となってもらうことを期待します。



研修日程（予定）

	日 程	場 所	内 容
事前研修	6/23(土)～6/24(日)	JICA四国 または四国県内の施設	JICA事業や研修概要、研修国事情等の説明（日程・安全管理）、過年度参加者との意見交換、参加教員同士の交流
海外研修	8/8(水)～8/18(土)	パラグアイ共和国	JICA事業の見学及びJICA関係者との交流、現地の学校訪問、生活体験、教材等の収集
事後研修	8/25(土)～8/26(日)	JICA四国 または四国県内の施設	海外研修の振り返り、情報共有、今後の授業案作り
授業実践	9月～1月	参加者所属校	各学校で海外研修の学びを活かした授業の実践
報告会	2/16(土)～2/17(日)	JICA四国 または高松市内の施設	海外研修報告、授業実践報告会

※派遣国の政治・治安情勢が悪化した場合、関係するJICA事務所及びJICA安全管理室の判断で派遣を見合わせる場合があります。



応募資格及び参加条件

1. 応募資格

- 四国4県の国公立・私立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、特別支援学校、専門学校の教員。（講師含む）
- 原則として、応募締め切り時点で年齢が原則50歳以下であること。
- 所属する学校の校長もしくは教頭の推薦が得られること。
- 授業やクラブ活動で国際理解教育・開発教育を実践していること、また今後実践する予定にあること。
- 過去に本研修、JICAボランティア、JICA専門家、ODA民間モニター等、JICAから海外に派遣された経験のない方。但し、本事業の過年度参加者については、新規参加者が定員に満たない場合に限り、以下の条件を満たす方を選考対象とします。①前回の研修参加後から現在まで国際理解教育・開発教育の実践を継続しており、今後も実践できる方 ②過去の参加経験を活かし、海外研修や事前・事後研修においてリーダーシップを発揮できる方 ③事前・事後研修やその他JICA四国が主催するセミナー等で講師となり、自身の実践活動内容を公開することに同意できる方。

2. 参加条件

- 本研修の趣旨・目的を十分理解し、海外研修だけでなく、国内で実施される事前・事後研修および報告会等全日程（上記の日程表参照）に参加すること。
- 帰国後、所定の期日内に海外研修報告書を提出すること、また本研修の定めた期間内に所属校において授業実践を行い当該授業の実践報告書を提出すること、且つこれら提出物をJICAウェブサイトなどで一般公開されることに同意すること。
- 今後、JICAが実施する教員対象の研修会やエッセイコンテスト等の開発教育支援事業に協力可能であること。
- 本事業に関連して撮影された写真及び事業の結果、作成された著作物についてJICAが広報目的で使用するについて同意できること。



教師海外研修の流れ

参加決定から報告会まで、1年間にわたる研修の流れをご紹介します。

6月

国内事前研修

国内事前研修～海外研修に向けた準備～

国内事前研修では、JICAやODAについての知識に加え、訪問国の現状、開発課題等への理解を深めるとともに、現地研修での「視点」について考えます。また、研修後の授業立案に向けて国際理解教育・開発教育を実践するためのスキルアップを図ります。



8月

海外研修

海外研修～帰国後の授業に向けた素材集め～

JICAプロジェクトサイト・JICAボランティア活動現場・現地の学校の視察（交流授業の実施等含む）や、現地マーケットで教材研究のための素材収集等を行います。



8月
下旬

国内事後研修

国内事後研修～授業実践に向けた準備～

海外研修を振り返りながら、それぞれの情報を共有します。今後、授業でどのように伝えていくか、アイデアを出し合いながら参加者全員で授業計画を考えます。



9月
1月

授業実践

授業実践

それぞれの学校で国内・海外研修での学びを活かした授業を実践していただきます。子どもたちが、何を知り、どう行動するようになるか、海外での経験と国内での研修の成果をいかに発揮しましょう。

2月

報告会

報告会&国際理解教育セミナーでの報告

「海外研修で何を学び、どう授業に活かしたか」を参加者間で情報共有し、「その授業で子供たちが何を学び、どんな変化が見られたのか」など国内外での研修の成果を報告します。



研修参加後は、所属校で継続的に授業を行い、四国の国際理解教育・開発教育を推進する中核となって活躍していただきます。